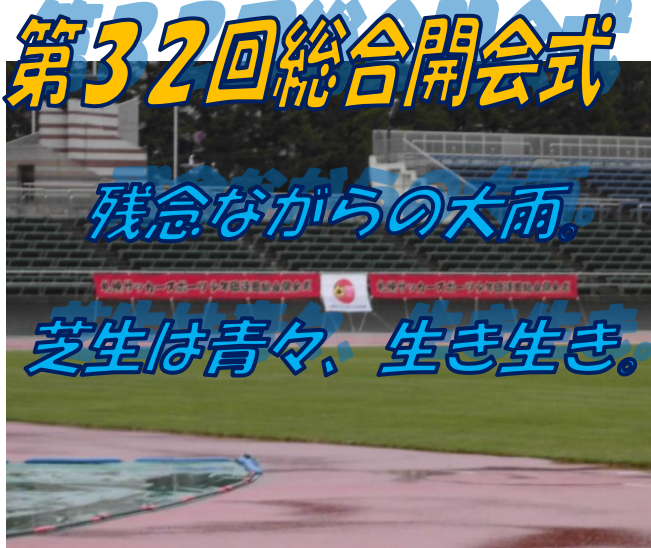




# きずな



毎年恒例の札幌市サッカースポーツ少年団連盟の総合開会式が4月29日、低温大雨というあいにくのコンディションの中、厚別競技場で行われました。

写真撮影等もできず、風雨の中、長い時間の雨宿り。他のチームとの交流もあったようです。



入場行進もできず、グラウンドに一斉集合。今年度は1981人の選手が整

列しました。ドーレ君もきてくれて、貴重な傘すがたを見せられました。



札幌市サッカースポーツ少年団連盟の川口谷 正会長からは、サッカー選手としての心構えについてお話をいただきました。サッカーは自分を

強くしてくれる。友達もできる。だから周りの人たちへの感謝を忘れない選手になろう。というお話でした。今年も「サッカーで汚したソックスやパンツは、自分で洗おう!!」と教えていただきました。雨の中スタンドで応援してくれたサポーターからたくさんの共感の声があがりました。

選手宣誓は、札幌澄川 JFC の田澤 寛詩君です。雨に負けず堂々と、サッカーができることへの感謝、相手へのリスペクト、そしてフェアプレーを誓ってくれました。全選手の代表に相応しい素晴らしい宣



誓でした。

競技場にはビジョンが設置されていました。本来ならばリフティングやリレーの様子も大きな画面で見られたのではないかと思います。本当に残念な雨の中での開会式で

したが、多くの関係者のご尽力で実施できたことに感謝し、1年間のサッカー、がんばっていきましょう

